

認知症カフェ開設講座



全国に広がりつつある「認知症カフェ」。

この「開設講座」では、カフェの運営方法やスタッフの役割、意義や効果など、カフェ実践のための基本的なことについて学びます。

認知症カフェを運営している団体などによる実践報告や、パネルディスカッションも予定しています。

これから「認知症カフェ」を開設したいと思う人や、行政の担当者、すでに実践をされていて、あらためて運営について考えたい人など、どなたでもご参加いただけます。

とき

2016年 7月31日(日)
9:30~12:30

ところ

TKP
札幌カンファレンスセンター
カンファレンスルーム6A
(札幌市中央区北3条西3-1-6 札幌小暮ビル6F)

参加費

無料

定員

100人(定員になり次第締め切り)

講師

武地 一さん
(藤田保健衛生大学医学部
認知症・高齢診療科教授)

報告

秋保 真奈美さん
(苫小牧市福祉部介護福祉課主査)

渡邊 映子さん
(NPO法人風楽理事長)

主催／朝日新聞厚生文化事業団
後援(予定)／北海道、苫小牧市

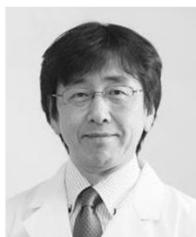
Program プログラム

9:30 ~ 10:20	講演	「認知症カフェの意義と形態～開設のためのポイント」 ▶ 武地一さん
10:20 ~ 10:40	実践報告	「認知症カフェの広がり」 ▶ 秋保真奈美さん
10:40 ~ 11:00	実践報告	「認知症カフェあまなつの取り組み～過疎地域で廃校を利用して」 ▶ 渡邊映子さん
11:10 ~ 12:30	パネルディスカッション	▶ 武地一さん、秋保真奈美さん、渡邊映子さん

Profile プロフィール

武地 一さん

医学博士
藤田保健衛生大学医学部
認知症・高齢診療科教授



1986年京都大学医学部卒業。
日本老年医学会、日本認知症学会の専門医・指導医。99年から2016年3月まで、京大病院で物忘れ外来を担当。同年4月から現職。
認知症ケアにおける認知症カフェの重要性を提唱している。NPO法人オレンジコモンズ理事長。京都認知症カフェ連絡会代表世話人。
2012年から、京都市内で店長として認知症カフェを運営。
著書に「認知症カフェハンドブック」(クリエイツかもがわ)。

秋保 真奈美さん

苫小牧市
福祉部介護福祉課主査

保健師。
2016年度から福祉部介護福祉課地域支援担当となる。2013年8月からモデル事業として認知症初期集中支援チームを設置、同年度から認知症カフェを開催し、認知症対策を進めている。その他、一般介護予防事業、在宅医療・介護連携推進事業、地域ケア会議推進事業、虐待防止ネットワーク事業等の業務を担っている。

渡邊 映子さん

NPO法人風楽理事長

障害があっても、高齢になっても、誰もが安心して生活できる地域作りを目指し、伊豆半島南端、過疎の町の南伊豆町で活躍しているNPO法人の理事長。障害のある子どものキャンプや、学童保育、赤ちゃん、障害のある人、高齢者、誰でも利用できる「共生型デイサービス」など幅広く活動している。
2015年2月、廃校となった小学校を利用し、「認知症カフェ あまなつ」を開所。3月から月に1回開催している。

お申し込み方法

参加希望のすべての方の

①お名前(ふりがな)②郵便番号・ご住所③TEL・FAX④職業を明記の上、Eメール、FAXのいずれかでお申し込みください。
ホームページからも申し込みめます。
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>
参加票を送付しますので、当日ご持参ください。

お申し込み・問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団
「認知症カフェ・札幌」係
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL:03-5540-7446 FAX:03-5565-1643
Email:cafe1@asahi-welfare.or.jp

会場

TKP札幌カンファレンスセンター

- 札幌市営南北線 さっぽろ駅 地下歩行空間1番出口 徒歩1分
- 札幌市営南北線 さっぽろ駅 9番出口 徒歩4分
- JR函館本線 札幌駅 南口 徒歩5分

